

令和2年度
情報教育公開研究会
研究概要説明

船橋市立古和釜中学校

令和2年11月11日(水)

I 研究の概要

1 主題設定の理由

2 研究仮説

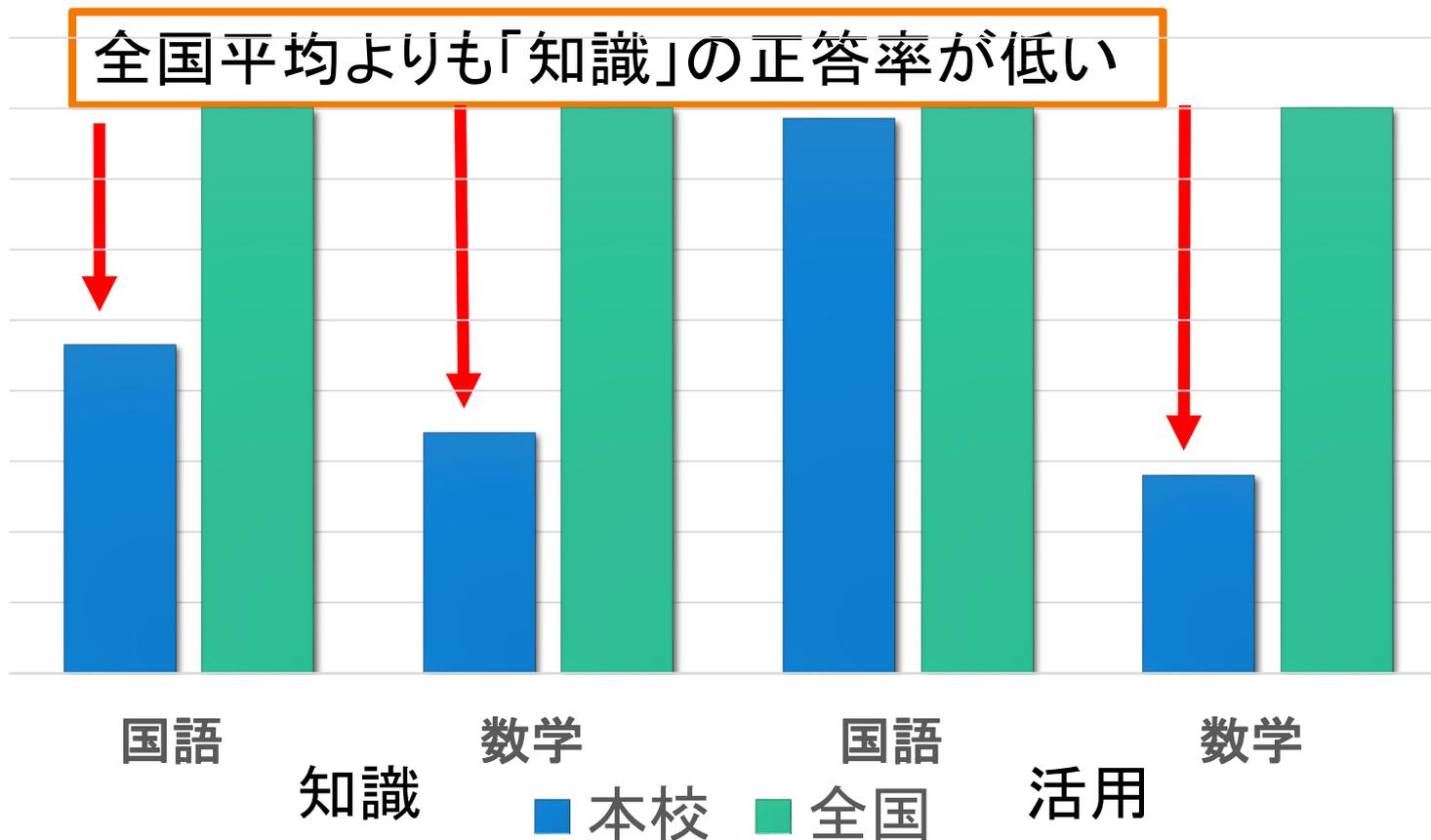
3 研究方法

1 主題設定の理由

生徒の実態

平成30年度 全国学力・学習状況調査

全国平均よりも「知識」の正答率が低い



生徒の実態

各設問を合計した無回答率(%)

全国平均よりも無回答率が高い



生徒の実態

平成30年度 生徒アンケート 結果

授業や家庭学習を意欲的に取り組んでいる。

- A 十分に出来ている 36%
- B 普通(やや十分も含む) 54%
- C 改善の必要がある(ほとんどできていない) 10%

船橋市立古和釜中学校 学校教育目標

生徒一人ひとりの個性を生かし
可能性を最大限に伸ばし
生きる力を育てる

研究主題

基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、
自ら進んで学習に取り組む生徒の育成
～各教科におけるICTを活用した授業づくり～

2 研究仮説

繰り返し学習

×

×

ICT
活用

基礎的・基本的
な知識・技能の
習得

主体的・対話的で
深い学びによる
授業改善

自ら進んで
学習に取り組む

3 研究方法

基礎的・基本的な
知識・技能の習得

自ら進んで学習に
取り組む態度

フラッシュ型教材の
活用

学習場面に応じた
活用

Ⅱ 研究の実践

- 1 ICT活用のスタンダードルール(1年目)
- 2 フラッシュ型教材の活用(2年目)
- 3 学習場面に応じたICTの活用(3年目)

1 ICT活用のスタンダードルール(1年目)

ルール設定の目的

① 学習規律を守ることで**学習の効率化**を図る。

② ICTを活用した**学習方法を統一**することで、
学習内容が理解しやすくなる。

教師側のルール

① 電子黒板

- 使用しないとき



- 見せるとき



- カーテン・照明を調節
- A/Vミュート機能の活用

教師側のルール

② 自作教材について

- 背景は濃色に

主要動を伝える
速さの遅い波

S波

主要動を伝える
速さの遅い波

S波

主要動を伝える
速さの遅い波

S波

- 使用する電子黒板に合わせた画面比

生徒側のルール



学習環境について

授業に集中できるように



見えるものは整える



見えるものは整える



取り出しやすい



2 フラッシュ型教材の活用(2年目)

活用の目的

① **声に出す**ことで効率よく**暗記**させる。

② **授業開始時**や**隙間時間**を利用して
繰り返し学習することで**記憶力**を高める。

活用のルールについて

<使用する際の共通ルール>

- 導入(時間があれば、まとめやすきま時間を活用)
- プレゼンテーションマウスで、机間指導しながら!
- ほめて自信をつけさせる!

<作成や管理の共通ルール>

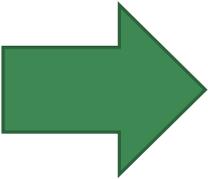
- 背景色は濃色に(暗幕がない教室の時)。
- 使用する電子黒板に合わせた画面比で作成。
- 校内サーバーで管理し、共有する。

各教科における実践例

数学科

次の比を最も簡単な整数の比でいいなさい

25:10



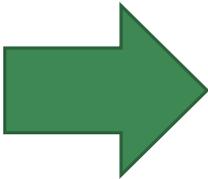
次の比を最も簡単な整数の比でいいなさい

25:10=5:2

理科

地球が太陽のまわりを1年かかって1周することを

地球の 



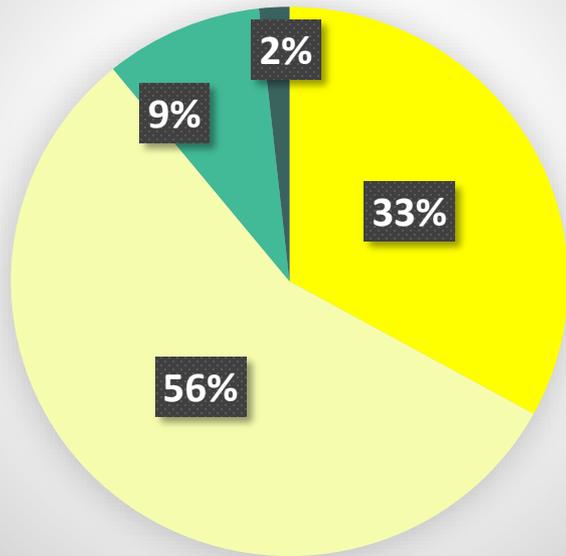
地球が太陽のまわりを1年かかって1周することを

地球の 

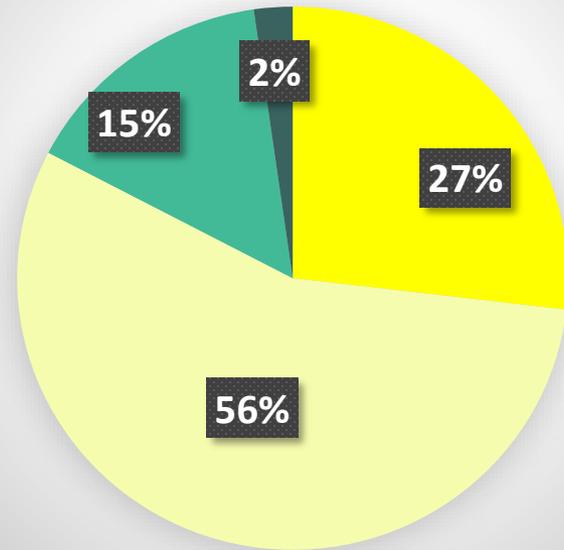


生徒のアンケート結果

フラッシュ型教材は用語や単語、
語句を覚えやすいですか



フラッシュ型教材は用語や単語、
語句を覚えられましたか



とても思う

まあまあ思う

あまり思わない

全く思わない

3 各教科における場面に応じたICTの活用(3年目)

活用の目的

学習場面に応じたICTの活用をすることで、より理解が深まり、自ら進んで学習に取り組む態度の育成を目指す

平成29年公示 学習指導要領解説

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

エ 1回1回の授業で全ての学びが実現されるものではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、児童生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるかを考え、実現を図っていくものであること。

学校におけるICTを活用した学習場面

A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>		<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	
<p>A1 教師による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p>B1 個に応じた学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p>B2 調査活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>
<p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>

英語科 B1: 個に応じた学習【googleフォーム】

質問 回答 24 合計点: 25



関係代名詞

フォームの説明

このフォームでは 船橋市立古和釜中学校のユーザーのメールアドレスが自動的に収集されます。 [設定を変更](#)

英語を教えている姉 a sister who () English. *

teaches

she teaches

アメリカで人気のあるマンガ a comic which () popular in Japan. *

即時採点



簡単に個に返す
ことができる

理科 B2: 調査活動 【googleスプレッドシート】



2 - 3 並列回路に流れる電流の大きさ ☆ 図 印

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール アドオン ヘルプ 最終編集: 数秒前

125% ¥ % .0 .00 123▼ デフォルト... 10 B I S A

fx

	A	B	C	D	E
2		点D	点E	点F	点G
3	例	300			
4		413	180	235	240
5		390	170	232	405
6		351	149	200	340
7		490	260	250	
8		400	180	230	400

+ ≡ 結果 ▼

リアルタイムで
結果の共有

保健体育科 C1:発表や話し合い【ロイロノート】



学習データの蓄積

国語科 C1:発表や話し合い【googleスライド】

2組2班(氏名: [redacted])

テーマ「地域貢献のための3学年の活動として」
「雑草を抜いて、木や花を植える」

理由

- ・見た目が良くなる。
- ・他の地域から来た人からの印象がよくなる。
- ・可愛い蝶々さん達が集まってくる。



のが良いと考える。



グループでの
発表資料の作成



社会科、 C2:協働での意見整理 【ロイロノート】



一人ひとりの意見の共有が容易

数学科 C2:協働での意見整理 【ロイロノート】



Ⅲ 研究の成果と課題

1 研究の成果

2 研究の課題

2 研究の成果

- ① 学習規律や学習環境について見直しを行い、共通理解を図ることで学習の効率化が図れた。
- ② 基礎的・基本的な知識・技能を身につけるための手立てとして、フラッシュ型教材は効果的であった。
- ③ 学習場面に応じて効果的にICTを活用することで、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善を推進することができた。

3 研究の課題

① 学習場面において効果的にICTが活用されたか、継続して検証・改善を行う必要がある。

② 機器の操作技能や情報モラルなどの育成が必要になる。

ご清聴ありがとうございました。

